

岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて

1. 岡田県営住宅地域について

生活支援コーディネーターとして、今期の生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議では、岡田県営住宅地域における高齢者の生活支援をメインのテーマとして取り扱うことを提案したい。

何故、岡田県営住宅地域なのか

(1) 町内で最も高い高齢化率

岡田県営住宅地域を含む岡田7丁目は、字別で確認すると、町内で最も高い高齢化率となっている。(参考資料4)

岡田7丁目の高齢化率

字名	総人口	65歳以上	高齢化率
岡田7丁目	1,553	670	43.1%

令和元年6月30日時点

この先、高齢化が進む寒川町におけるモデル地域として、この地域における生活支援を考えたい。

(2) 自治会長の相談等から、生活支援サービスが必要と推測できる。

(参考資料5、6)

- 岡田もくせいハイツ自治会
- 県営寒川もくせいハイツ自治会

自治会長からの相談

- ・また孤独死が出てしまった。
- ・回覧板も回らない。
- ・防災訓練に出てこられない人も多い。
- ・高齢者ばかりで草刈りができない。自治会長がやるしかない。

(3) 岡田県営住宅地域に在住する方の、町社協のサービス利用者の状況から生活支援サービスのニーズがあると考えられる。

社会福祉協議会のサービス利用状況から

- ・ 日常生活のちょっとしたお手伝い（サポートさむかわ）
 - ・ 金銭管理（日常生活自立支援事業）
 - ・ 常時おむつを使用する家族の介護を抱えている（おむつ代助成）
 - ・ ドアツードアの送迎が必要（福祉有償運送）
 - ・ 一時的な生活困窮（緊急援護資金）
 - ・ 進学のための費用を借りたい（生活福祉資金）
 - ・ 判断能力が無い（法人後見）
- 等

以上の理由から、岡田県営住宅地域における生活支援サービスを検討することを提案したい。

岡田県営住宅地域の概要

内 容	データ	説 明
高齢化率	43.1%	当該地域を含む岡田7丁目で算出。 40%を超えるのは町内で唯一。
自治会	2自治会	①岡田もくせいハイツ自治会 ②県営寒川もくせいハイツ自治会
民生委員	3名	①岡田もくせいハイツ自治会 1名 ②県営寒川もくせいハイツ自治会 2名
医療機関	なし	病院の無料巡回バスは入っている
相談窓口	なし	町役場、町社協まで出向く 必要に応じ訪問対応
福祉系事業所	なし	サービス提供のための訪問等はある
公共交通機関	あり	コミュニティバスのバス停：5ヶ所 神奈中バスのバス停：1ヶ所
買い物	あり	県住マーケット、木村商店、広田酒店、ア メリア寒川ショッピングセンター等

2. ニーズ調査について

前述の内容を踏まえ、岡田県営住宅地域における生活支援を検討するため、より詳細なニーズ調査を行う必要があると考えます。

調査方法（案）

(1) 調査方法：聞き取り調査

- ア. 岡田県営住宅地域の2自治会長、役員にヒアリング
- イ. 岡田県営住宅地域の民生委員児童委員3名にヒアリング
- ウ. 岡田県営住宅地域の町社協のサービス利用者に対しヒアリング
- エ. 岡田県営住宅地域で活動するボランティアグループ「まるパク」が運営する「陽だまりカフェ」利用者にヒアリング
- オ. 岡田県営住宅地域で営業する商店等にヒアリング
- カ. 岡田県営住宅地域でサービス提供する町内介護サービス事業者にヒアリング
 - ・ 居宅介護支援事業所
 - ・ 訪問介護事業所

(2) 調査項目

高齢者の生活上の困りごと、不便なこと、ちょっと助けて欲しいこと等を中心に調査票を作成して実施。

調査票に入れる項目

食事、睡眠、洗面、排泄、身だしなみ、洗濯、掃除・片付け、金銭管理、防犯、防災、健康維持・管理、病気等

(3) 今後の予定

- 7月23日 基盤整備推進会議で調査項目について意見交換
- 8月上旬 調査票（案）委員各位に送付。チェックをお願いします。
- 8月下旬 上記チェックの返信締め切り
- 9月 仕上がった調査票を元に調査
- 10月 調査結果を集計、整理
- ※9月もしくは10月開催の基盤整備推進会議で調査の経過をご報告
- 11月～ 調査結果をもとに今後の展開を検討し、不足する内容等あれば再度ヒアリング等を行う
- 12月の基盤整備推進会議で最終結果報告